

## 令和6年度第3回学校運営協議会（公開授業研究会）議事録

1 日 時：令和6年11月13日（水）15：40～16：10

場 所：応接室 他

出席者：学校運営協議会委員5名 本校教職員8名

2 時 程：

13：30～14：20 研究授業動画視聴

14：30～15：30 教科研究協議

教科	会場	研究授業科目
国語	N31	現代の国語（全日制）
外国語	N33	英語コミュニケーションⅡ（全日制）
地歴・公民	N35	地理総合（全日制）・地理総合（定時制）
数学・情報	N41	数学Ⅰ（全日制）・数学Ⅱ（定時制）
理科	N43	化学基礎（全日制）
保健体育	N45	保健a（全日制）
芸術・家庭	N44	美術Ⅱ（定時制）

15：40～16：10 振り返り（学校運営協議会委員の皆様からご意見を頂く）

3 振り返り議事録 司会：副校長

### 本校職員からの振り返り

- ・英語科：非常に活発な意見が出ており、良い機会となった。（全日制職員）
- ・三課程一斉に授業研究を行う意義はあるが、課題もある。年に一回こういう場合は、教員としての成長につながる。（全日制職員）
- ・非常に有意義な機会となった。少人数の教科だからこそ、集まって議論する大切さがある。議論することで、その人の人となりがわかって、今後に活かせる。（定時制職員）
- ・課程は違えど、共通の悩みもある。議論の舵取りが難しい。教科によっては、意思統一が難しいところがある。一人の先生が演説している教科もあったと聞いている。授業担当者がいなかった教科もあった。三課程集まって、共有する場があっても良いと思うが、今後について考えていく必要があると思う。（通信制職員）
- ・三課程一斉に行うことによる、ストレスもあるし、良さもある。（全日制教頭）
- ・三課程一斉だと、教員にとってひと手間多い。面倒であるという声がある。授業についても生徒が違うから、それぞれの課程で教育を進めれば良いのではないかという意見があることは承知している。三課程一体として行うことは、県からのミッションである。そこを変えることはできない。（定時制教頭）

- ・それぞれ生徒は違う。生徒のために、どのようにしたらよいかを考えて教育活動を行っている。今回の授業研究では、課程を越えて、自課程に活かせる議論になっていた。今後に向けても良い機会だと思うので、発展させていければよいと思う。(通信制教頭)

また、各委員から次の指導助言があった。

- ・(国語分科会に参加して) chromebook 使って、デジタル授業が行われていた。ICT 環境のさらなる充実が必須ですね。
- ・生徒に勉強を教えることは、課程が違って何も変わらないと思う。三課程共通で何かやることは続けていってほしい。授業参観中でも寝ている生徒もいた。先生方も大変だなと思う。自分の子には、先生方はこんなに一生懸命考えてくれているんだよと伝えていきたい。
- ・(数学分科会に参加して) sin、cos、tan の授業であった。階段の傾斜を考える授業で、主体的に生徒たちが考えていた。この授業研究を通して、先生方が自分にも取り入れてみようかなという前向きな意見があった。清南の先生として、お互い高め合って頑張ってほしい。
- ・(地歴公民分科会に参加して) 生の授業を観れると思っていたので、動画で残念だった。課程によって、好奇心のレベルも違って、先生方がよく工夫されているなど感じた。授業研究の議論も有意義なものになっていた。地理歴史だと、ICT の活用がとても有意義なもので、今後の人生においても ICT の使い方の勉強にもなると感じた。ベテランの先生が、自分の自己紹介をするつもりで授業をしている。授業を通して、この先生に相談してみようかなと思えるのではないかと思った。PTA 会長になってよかった。
- ・(数学分科会に参加して) 先生が「教員同士が相談しやすく、楽しくやっていることが、生徒にも伝わると思う」とおっしゃっていた。まさにその通りだと思う。先生方同士が率直な意見を述べて、想いや願いを伝え合う良い場になっていた。悩みは色々あるんだなど感じた。生徒の様子、小テストの点数を褒めたことで生徒がニヤッとしてくる。その些細なことが大事である。「生徒の声がたくさんする授業でした」という先生の意見があり、願いを共有し、生徒が元気になり自宅に帰れる場になっていた。

副校長より

本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。学校運営協議会のメンバーが授業研究に参加している学校は初めてでした。先生方の授業研究を保護者の方々に見ていただいた機会になったとともに、保護者の方々の思いが先生方に伝わるということはなかなかない機会だと思います。